

# 一般会計

歳入総額 313億6735万円

歳出総額 301億7335万円

市の会計のうち、基礎的な経理を中心とした会計です。

令和元年度の予算は主に次のように使われました。主なもののため、合計は一致しません。(万円未満切り捨て)

## 令和元年度決算を認定

市長は、翌年度予算を決める3月の定例会までに、前年度の決算について議会の認定を受けなければなりません。

9月16日、17日の2日間にわたり開催された予算決算委員会において決算内容を審査し、本会議最終日に全ての決算を認定しました。

(質疑は予算決算委員会でのもの)

### 市税収入未済額の減少

市税の収入未済額が、前年度に比べて大きく減少した要因は、

滞納繰越額の減少と、不納欠損処理額の増加が要因。

不納欠損額が増加した要因は、不納欠損処理した人のうち高額滞

納者の割合が多かったことが要因。未収金を増やさないための努力は、

財産調査を徹底し、差押え実績を上げるように努めた。

### マイナンバーカードの普及と推進

普及と推進の取り組みは、

市民まつり、確定申告会場、市民課窓口などでの申請用写真の無料

撮影サービスや総務省マイナポイント事業と連携した啓発チラシの

全戸配布など、取得を促した。普及の取り組みの成果は、

年間800枚程度だった交付枚数が、昨年は1548枚と倍増した。



### 総務費

28億8581万円

シティセールス推進事業  
(ふるさと寄附金返礼業務など)  
5246万円

### 親子交流館に総合相談窓口を設置

親子交流館(すくっと)に設置の総合相談窓口の取り組み状況は、

土日祝も含めた週6日間の体制で207件の相談対応を行った。そのうち土日祝は50件だった。

平日以外の対応の利点は、来館した保護者のちょっとした悩み事に対応でき、平日同様の支援

が可能になった。いつでも相談できる安心感を提供できるように

なったことが大きな利点である。

### 家族介護用品の支給

介護の経済的負担を軽減する事業として重要だが、周知の方法は、

毎年、広報たはら4月号のシニアの広場で案内を掲載している。

助成券がもっと活用されるには、介護保険で様々なサービスがある

が、それ以外で考えられるものがあれば活用を考えていきたい。



### 民生費

84億6199万円

認定こども園整備支援事業  
(認定こども園等施設整備補助など)  
3億9140万円

### 不法投棄防止対策事業

不法投棄を防ぐために実施した取り組みは、

不法投棄された場所、されそうな場所への啓発看板や監視カメラの設置、週3回の巡視、広報たはら

などで啓発を行った。不法投棄しにくい環境を作ることが

必要では、常にきれいにしておくことが事前

防止にもなり、必要である。引き続き地域と連携して情報発信なども

行い、不法投棄を減らしたい。

### 斎場運営事業

新斎場への移動手段の協議結果は、

市では8人乗りと24人乗りの2台の霊柩車により霊柩車業務を継続

して行うことを説明した。使用方法や予約方法の協議は、

令和3年4月から運用開始のため、本年度検討している。



### 衛生費

41億9772万円

斎場整備事業  
(田原斎場新築工事など)  
7億3626万円